

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

チェックシートの片面にレンチキュラーレンズが形成されており、該レンチキュラーレンズ面と反対側の面に該レンチキュラーレンズのレンズ幅より狭い幅で該レンチキュラーレンズの長手方向に延びる着色された遮蔽縞が形成されており、該遮蔽縞と遮蔽縞の間は光が透過することを特徴とする文房具用チェックシート。

【請求項 2】

前記遮蔽縞が赤色に着色されていることを特徴とする請求項 1 に記載の文房具用チェックシート。

【請求項 3】

前記遮蔽縞が緑色に着色されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の文房具用チェックシート。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、文房具用チェックシートに関する。より詳しくは、生徒、学生等が試験勉強、受験勉強、その他で暗記を必要とする場合に、暗記に必要な文字、図形、記号、式等（必要な文字等）を覆い、日常の勉強に使用したり、受験者が受験勉強のために使用したりする文房具用チェックシートに関し、特に限られた勉強用空間において暗記するのに便利な文房具用チェックシートを提供することを目的とする。

【背景技術】

【0002】

試験勉強、受験勉強、その他で暗記を必要とする場合に、暗記に必要な文字、図形、記号、式等（必要な文字等）に下線を引いたり、必要な文字等を見えないように塗り潰したり、また、必要な文字等を幾度も読んだり、書いたりした後で破り捨てたりしていた。このため、ノートや本が甚だしく汚損したり、頁がとんだりしてしまう欠点がある。のみならず、ノートや本を後で再度利用する必要が生じたときに、不便を感じる。

【0003】

このような状況に鑑みて、特許文献 1（特開昭 57-37389 号公報）には、筆記具およびその筆記具によるマーキング部分の色と余色関係或は同色関係の着色透明フィルムを一揃いとした学習具が提案されている。

【0004】

特許文献 2（特公昭 57-37871 号公報）には、教科書等に黒色印刷により記載されている表示部分の内、その特定表示部分を暗記する学習において、その学習能率を増進させるために特定表示部分を暗転した地色に混同させて一時的に隠蔽する学習用具が開示されている。すなわち、黒色印刷による一連の表示のうちの特定の表示のみを包囲する特定区域の地を、前記表示の視認が可能に一つの補色対の一方の色に着色した書面と、前記した補色対の他方の色の透明な地色をもつチェックシートとを組にし、チェックシートの透視下における特定区域の暗転した地色に前記特定の表示を混同させてなる暗記能率増進学習具が提案されている。

【0005】

しかしながら、従来は教科書等の特定表示部分に補色対の一方の色が印刷等の適宜の転写手段により既に転写されていて、補色対の他方の色に着色されている透視可能なチェックシートを重ねることで当該特定表示部分を一時的に隠蔽するものであった。従って、従来においては教科書等を作成する業者が種々のデータを基に特定表示部分を設定していることから、暗記する学習において、その有効性は発揮されている反面、使用者側は既に決められている特定表示部分のみしか隠蔽することができない。即ち、使用者は制約された学習範囲でしか使用することができない等の使用上の不都合があった。

【0006】

この様な従来事情に鑑みて、特許文献 3（特許 3501433 号公報）には、印刷紙面

10

20

30

40

50

の表示部分の内、特定表示部分に補色対の一方の色を転写する転写具と、透視可能で着色された前記特定表示部分を目視不能に暗転した地色に混同させる補色対の他方の色を有するチェックシートとを組とする学習用具において、転写具が塗布転写式であり、転写具から転写されるとともに補色対の一方の色を構成する液状物が、顔料粒子と、紙の酸との反応により瞬時に皮膜を形成するスチレン・ブタジエン・エマルジョン樹脂粒子とからなる学習用具が提案されている。

【0007】

特許文献3の目的は、印刷紙面に記載されている特定表示部分を自由に選択して、当該特定表示部分を一時的に隠蔽する学習を行うことができ、しかも文字を書く如く、或いはテープを貼る如く前記特定表示部分に補色対の一方の色を転写することができ、更には特定表示部分を間違えて必要以上に選択してしまった場合等には消しゴムによって簡単に取り除く（消す）ことができる学習用具を提供するものである。

10

【0008】

特許文献4（特開平11-202748号公報）には、学習教材の文字や地の部分を印刷する色と着色透明フィルムとの組み合わせにより反復学習を容易にし、また着色フィルムを複数組み合わせることで反復学習が平板に流れることを防止することを目的とし、学習教材における重要語句を着色フィルムの同系色で、解説文の地にひく色を着色透明フィルムの補色で印刷しておき、重要語句に着色フィルムを、解説文に着色透明フィルムを重ねて見た時に、重要語句は着色フィルムの色に溶け込むことで、解説文は地色と着色透明フィルムとの補色混合による暗色に塗りつぶされて判読不能となることで反復学習を容易にし、また、着色フィルム、着色透明フィルムの2種類のフィルムを使い分けることで反復学習が平板に流れることを防止することが提案されている。

20

【0009】

特許文献5（実開平7-29558号公報）には、無色透明あるいは着色透明のシートの裏面に局所的に粘着箇所を設け、大部分は非粘着部分とすることを特徴とする暗記学習シートが提案されている。このシートは教科書等に貼付けた状態で、暗記すべき箇所をシートに色ペンで塗り潰すようにして使用したり、2色刷り教科書等に使用するものである。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

30

【0010】

上述した特許文献1～4に開示されたチェックシートは、暗記に際して、書物や紙に記載された文字等を先ず記憶し、その後、筆記具による文字、塗潰線等のマーキング部分が記された書物や紙の上に、フィルム製のチェックシートを置いて、そのマーキング部分を隠して見えなくし、書物や紙に記載された文字等を暗記するようにしている。

【0011】

すなわち、特許文献1～4に開示されたチェックシートを使用ときには、書物や紙の上からチェックシートを外して、文字等が見えるようにしてそれらを記憶したり、文字やマーキング部分が記された書物や紙の上にチェックシートを載せて、文字等を見えなくして記憶効果を高めたりする。このため、特許文献1～4に開示されたチェックシートは、記憶や暗記の都度、チェックシートの取付け、取外しを要し、学習操作が容易ではなく、学習効果が低いものであった。

40

【0012】

特に、電車やバス等による通勤、通学時間を有効に使用して暗記や勉強をしようとする際に、このチェックシートを用いた学習法を適用しようとする、チェックシートを書物や紙の上に載せたり、チェックシートを外したりする必要がある、電車やバス等では暗記作業を行う空間が狭く、また、書物や紙等から外したチェックシートが電車やバス等による揺れや振動により落下したり、チェックシートの取り扱い中に、手等が隣の人に当たったりして、操作が容易ではない。

【0013】

50

この対策として、特許文献5のように、無色透明あるいは着色透明のシートの裏面に局所的に粘着箇所を設け、大部分は非粘着部分とすることにより、チェックシートが落下することは防止できるが、チェックシートの粘着箇所が書物や紙に粘着している状態のため、書物や紙とチェックシートは全体として嵩張り、取り扱いが面倒である。

このような従来技術に付随する欠点に鑑み、本考案は電車やバス等による通勤、通学時においても、チェックシートを動かすことなく、文字やマーキング部分が記された書物や紙の文字等を見えるようにし、また、必要に応じて文字等を見えなくして、学習効果を高めるようにした文房具用チェックシートを提供することを目的とする。

【特許文献1】特開昭57-37389号公報

【特許文献2】特公昭57-37871号公報

【特許文献3】特許3501433号公報

【特許文献4】特開平11-202748号公報

【特許文献5】実開平7-29558号公報

【課題を解決するための手段】

【0014】

本考案においては、上記の目的を、チェックシートの片面にレンチキュラーレンズが形成されており、該レンチキュラーレンズ面と反対側の面に該レンチキュラーレンズのレンズ幅より狭い幅で該レンチキュラーレンズの長手方向に延びる着色された遮蔽縞が形成されており、該遮蔽縞と遮蔽縞の間は光が透過することを特徴とする文房具用チェックシートにより達成する。

【0015】

チェックシートを載せて、文字等を見えなくするためには、書物や紙の上に記載される文字やマーキング部分は、赤色または緑色に着色されることが多い。したがって、本考案の場合に、前記遮蔽縞と遮蔽縞の間が光を遮蔽するように赤色または緑色に着色されていて、赤色または緑色で記載された書物や紙の上の文字が見えなくなるようにすることが好ましい。

【考案の効果】

【0016】

本考案においては、チェックシートの片面にレンチキュラーレンズが形成されており、該レンチキュラーレンズ面と反対側の平坦な面に該レンチキュラーレンズのレンズ幅より狭い幅で該レンチキュラーレンズの長手方向に延びる着色された遮蔽縞が形成されており、該遮蔽縞と遮蔽縞の間は光が透過する文房具用チェックシートが提供される。このため、レンチキュラーレンズの表側から見た場合に、その見る位置によって、遮蔽縞の間の隙間から下側に置かれた書物や紙の上に記載された文字やマーキング部分が見えたり、着色された遮蔽縞が見えたりする。

【0017】

従って、本考案の文房具用チェックシートによれば、チェックシートを動かさなくとも目の位置を僅かに動かすことにより、文字やマーキング部分が記された書物や紙の文字等を見えるようにしてそれらを記憶したり、着色された遮蔽縞により記憶した文字等を見えなくでき、記憶や暗記の都度、チェックシートの取付け、取外しを要さず、学習操作が容易であり、学習効果を高めることができる。

【0018】

特に、電車やバス等による通勤、通学時間を有効に使用して暗記や勉強をしようとする際に、本考案のチェックシートを用いた学習法を適用すると、チェックシートを書物や紙の上に載せたままとでき、チェックシートを書物や紙の上に載せたり、外したりする必要がなく、電車やバス等の暗記作業を行う空間が狭く、また、書物や紙等から外したチェックシートが電車やバス等による揺れや振動により落下し易い場合にも、操作が容易に行える。また、チェックシートの取り扱い中に、手等が隣の人に当たったりすることも防止でき、操作が容易に行える。

【考案を実施するための最良の形態】

10

20

30

40

50

【0019】

図1は、本考案に係る文房具用チェックシート10を用いて文字、図形、記号、式等（必要な文字等）を覆うようにした書面20の一例として、実用新案登録公報の表紙形式に表したものである。この書面20のうち、枠Aに囲まれた領域に記載された考案の名称「文房具用チェックシート」の文字3aは緑色のインクで印刷されており、枠Bに囲まれた考案の構成を示す箇所3bは赤色のインクで印刷されている。

【0020】

図2は本考案に係る文房具用チェックシート10の拡大断面図である。本考案に係る文房具用チェックシート10はPET（ポリエチレンテレフタレート）等の合成樹脂製であり、チェックシート10の片面にレンチキュラーレンズ1が形成されている。公知のよう

10

【0021】

本考案においては、このレンチキュラーレンズ1と反対側の平坦な面に赤色または緑色に着色された遮蔽縞2を形成している。この遮蔽縞2の幅 W_2 はレンチキュラーレンズ1のレンズ幅（断面方向の幅 W_1 ）よりも狭くする。すなわち、隣り合う遮蔽縞2の間には遮蔽されない部分が形成されるようにしている。そしてこの遮蔽縞2はレンチキュラーレンズ1のレンズ位置に合わせるようにして形成されている。このようにして本考案の文房具用チェックシート10が構成される。

20

【0022】

本考案に係る文房具用チェックシート10を使用する際には、図1に示した文字、図形、記号、式等（必要な文字等）に記載した書面20の上に、図2に示した本考案に係る文房具用チェックシート10を重ねる。

【0023】

この状態で、図3（a）に示すように、本考案に係る文房具用チェックシート10のレンズ1の外側から見た場合には、その目の位置によって、レンチキュラーレンズ1を通して隣接する遮蔽縞2の間から下側の書面20の上に記載した文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3a、3bが見えたり（図3（b）参照）、遮蔽縞2により書面20の上に赤色または緑色記載された文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3a、3bが隠されたり（図3（c）参照）する。

30

【0024】

図3（c）の状態を詳しく説明する。第1の実施例として、遮蔽縞2が赤色に着色された文房具用チェックシート10を用いる場合には、この文房具用チェックシート10を図1に示した文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3a、3bに記載した書面20の上に重ねると、目の位置によって赤色に着色された遮蔽縞2が見えて、書面20の上で枠Aに囲まれた領域において赤色に記載され考案の構成を示す文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3bが赤色に着色された遮蔽縞2により隠される。なお、上述のように、目の位置によっては、図3（b）に示すように、レンチキュラーレンズ1を通して隣接する遮蔽縞2の間から下側の書面20の上に記載し赤色に着色された文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3bが見える。

40

【0025】

また、第2の実施例として、遮蔽縞2が緑色に着色された文房具用チェックシート10を用いる場合には、この文房具用チェックシート10を、図1に示した文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3a、3bに記載した書面20の上に重ねると、目の位置によって緑色に着色された遮蔽縞2が見えて、書面20の上で枠Bに囲まれた領域において緑色に記載され考案の名称を示す文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3aが緑色に着色された遮蔽縞2により隠される。また、上述と同様に、目の位置によっては、図3（b）に示すように、レンチキュラーレンズ1を通して隣接する遮蔽縞2の間から下側の書面20の上に記載し緑色に着色された文字、図形、記号、式等（必要な文字等）3aが見える。

50

【0026】

上述した第1および第2の実施例においては、文房具用チェックシート10の遮蔽縞2が赤色または緑色の何れかに着色されていた。第3の実施例においては、文房具用チェックシート10の遮蔽縞2を交互に赤色および緑色の両方に着色している。

【0027】

この場合に、目の位置によって、図3(b)に示すように、レンチキュラーレンズ1を通して隣接する遮蔽縞2の間から下側の書面20の上に記載し赤色および緑色に着色された文字、図形、記号、式等(必要な文字等)3a、3bが見えたり、または、隣接する遮蔽縞2の間から下側の書面20の上に記載し赤色および緑色に着色された文字、図形、記号、式等(必要な文字等)3a、3bの両方が隠され、文字、図形、記号、式等(必要な文字等)3a、3bが全く見えない状態となる。

10

【0028】

更に、目の位置によって赤色に着色された遮蔽縞2が見えて、書面20の上で枠Aに囲まれた領域において赤色に記載され考案の構成を示す文字、図形、記号、式等(必要な文字等)3bのみが赤色に着色された遮蔽縞2により隠されたり、緑色に着色された遮蔽縞2が見えて、書面20の上で枠Bに囲まれた領域において緑色に記載され考案の名称を示す文字、図形、記号、式等(必要な文字等)3aのみが緑色に着色された遮蔽縞2により隠される。

【0029】

本考案によれば、チェックシート10の片面にレンチキュラーレンズ1が形成されており、レンチキュラーレンズ面と反対側の平坦な面にレンチキュラーレンズ1のレンズ幅より狭い幅でレンチキュラーレンズ1の長手方向に延びる着色された遮蔽縞2が形成されており、遮蔽縞2とその隣の遮蔽縞2の間は光が透過するようになっており、このようにして文房具用チェックシート10が提供される。このため、レンチキュラーレンズ1の表側から見た場合に、その見る位置によって、遮蔽縞2の間の隙間から光が透過し下側に置かれた書物20や紙の上に記載された文字やマーキング部分3a、3bが見えたり、着色された遮蔽縞2が見えたりする。

20

【0030】

従って、本考案の文房具用チェックシート10によれば、チェックシート10を動かさなくとも目の位置を僅かに動かすことにより、文字やマーキング部分が記された書物20や紙の文字等3a、3bを見えるようにしてそれらを記憶したり、着色された遮蔽縞2により記憶した文字等3a、3bを見えなくでき、記憶や暗記の都度、チェックシート10の取付け、取外しを要さず、学習操作が容易ではあり、学習効果を高めることができる。

30

【0031】

特に、電車やバス等による通勤、通学時間を有効に使用して暗記や勉強をしようとする際に、本考案のチェックシート10を用いた学習法を適用すると、チェックシート10を書物20や紙の上に載せたままとでき、チェックシート10を書物20や紙の上に載せたり、外したりする必要がなく、電車やバス等の暗記作業を行う空間が狭く、また、書物20や紙等から外したチェックシート10が電車やバス等による揺れや振動により落下し易い場合にも、操作が容易に行える。また、チェックシート10の取り扱い中に、手等が隣の人に当たったりすることも防止でき、操作が容易に行える。

40

【図面の簡単な説明】

【0032】

【図1】本考案に係る文房具用チェックシートを用いて文字、図形、記号、式等(必要な文字等)を覆うようにした書面の一例を実用新案登録公報の表紙形式に表したものである。

【図2】本考案に係る文房具用チェックシートの拡大断面図である。

【図3】本考案に係る文房具用チェックシートの使用状態を説明する断面図である。

【符号の説明】

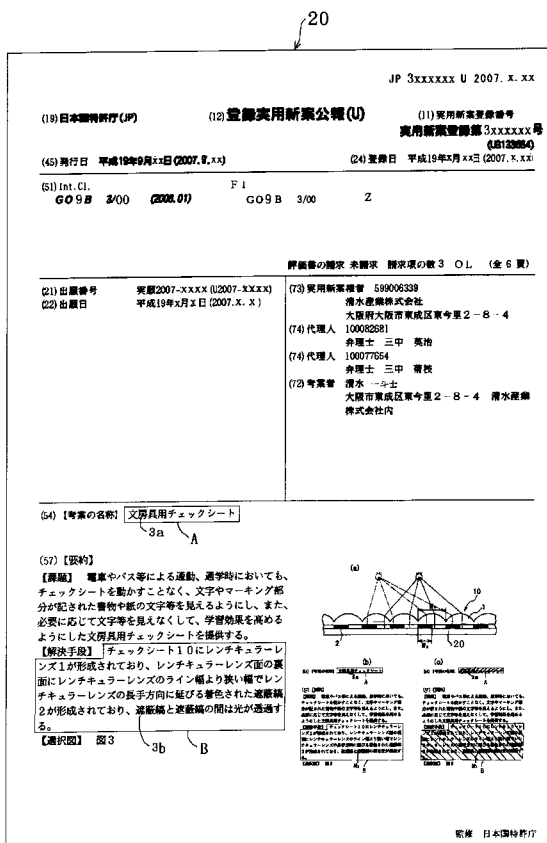
【0033】

50

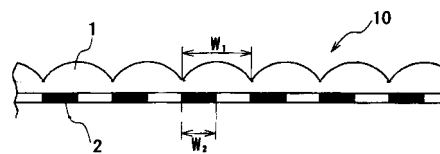
- 1 レンチキュラーレンズ
 2 遮蔽縞
 3 a 緑色のインクで印刷された文字
 3 b 赤色のインクで印刷された箇所
 10 文房具用チェックシート
 20 文字、図形、記号、式等（必要な文字等）を覆うようにした書面
 W_1 レンチキュラーレンズのレンズ幅
 W_2 遮蔽縞の幅
 A 考案の名称「文房具用チェックシート」を印刷した領域枠
 B 考案の構成を示す箇所

10

【図 1】



【図 2】



【図 3】

